

【事業名称】

日中友好秋季セミナー

【開催日時】

2014年10月25・26日

【開催場所】

山梨県南都留郡山中湖村・ホテル清溪

【主催者・共催者等】

(公社)日中友好協会、中華人民共和国駐日本国大使館

【事業内容】

協会と駐日中国大使館は10月25・26の両日、山梨県・山中湖畔にあるホテル清溪で日中友好をテーマにした「秋季セミナー」を合同で開催した。中国大使館職員9人のほか、関東圏の協会員および協会役員らを含む計52人が参加した。開催に先立ち岡崎温・協会理事長が「セミナーを通じてしっかり勉強し、意見交換もしながら、今後の友好活動に生かしてほしい」とあいさつした。

初日は、程永華駐日中国大使が日中関係について講演した。26年の日本滞在歴を持つ程大使の的を射た講義内容に、参加者は聞き入った。

また、初日の夜は懇親会を実施した。参加者は歓談を通じてしだいに打ち解け、日中双方が歌を歌い合うなど会場は盛り上がった。律桂軍・中国大使館参事官は「初めて会ったとは思えないぐらい、短い時間で親しくなれた。中日関係は依然として厳しいが、皆さんに負けないよう友好の情熱を持って頑張りたい」と話した。

2日目は交流会を行った。律桂軍・中国大使館政治部参事官のあいさつでスタートした交流会は、各都県協会の代表が順次発言する形式で進めた。NPO 神奈川県日中友好協



講演する程永華・駐日中国大使



懇親会で歌を歌う日中の参加者

会の高橋堅次・県日中青年学生部会会長は、同会にある20～30代の社会人・学生を中心とする日中交流ボランティアグループ「チャイ華」について紹介した。高橋部会長は、日本人と中国人の全員が役割を担ってアイデアを出し合い、花見や中国語スクーリングなどを実施していることをアピールした。



2日目の交流会の様

長野県日中友好協会の戸澤百子理事は、青年委員会と女性委員会が中国人留学生らとのスキー交流会や日中友好

キャンプを行っていることを紹介した。さらに、西堀正司・協会常務理事（長野県日中理事長）は、スキー交流会を30数年欠かさず続けていることを強調し、セミナー参加者に参加を促した。

さらに、茨城県日中友好協会青年委員会の高柳拓也さんは、日中間のネット交流について発言。中国のネット規制についてふれ「SNSなどインターネットを通じた交流が、より自由に情報発信できるようになることを願っている」と話した。

一方、中国大使館の職員は全員が自己紹介し、これまでに経験した日中業務や交流の思い出などについて述べた。

今年9月に着任したばかりの王磊・友好交流部三等書記官は、「働き始めてから10年来、様々な友好団体と交流しましたが、最も親しみを感じているのは日中友好協会です。中日間の青少年交流プログラムを協会主導の下で、ぜひ実施してほしい」と協会への期待を述べた。一方、洪擘・新聞広報部三等書記官は、大使館広報部の業務内容を紹介。その一例として、日中関係についての記者会見や、外国の一般市民に直接情報を提供する「公共外交」を挙げ、「日本のマスコミが中国にどのような関心を持っているかを常に意識しています。日本の人々が喜ぶようなニュースを発表できると嬉しいです」と話した。



交流会で発言する高柳さん